

熱中症チェッカー

ポケット熱中症チェッカー

品番 **WBGT-208** 価格 **¥43,000**

- ▶ WBGT値(屋内/屋外)
- ▶ 気温、黒球温度、相対湿度
露点温度、湿球温度
- ▶ WBGT値アラーム機能
- ▶ オートパワーオフ(15分)
- ▶ マニュアルメモリ(50点)
- ▶ ローバッテリー表示
- ▶ MAX/MINホールド



- WBGT値(熱中症指数)の把握で熱中症対策を!
- ポケットタイプなので携帯に便利
- 屋内(IN)と屋外(OUT)の切替がワンタッチで自動演算します
- WBGT値アラーム機能付で学校、作業現場の管理ができます
- バックライト付きなので読み取りやすい

センサ	温度：サーミスタ 湿度：静電容量型		
測定範囲	WBGT：0～56℃ 気温：0～50℃ 黒球温度：0～80℃ 相対湿度：5～95%RH 露点温度：25.3～48.9℃ 湿球温度：-21.6～50℃		
精度 分解能	WBGT値	精度 ±2℃	分解能 0.1℃
	気温	±1.2℃	0.1℃
	黒球温度	±1.2℃	0.1℃
	相対湿度	±3%RH	0.1%
	露点温度	計算値 ₁	0.1℃
	湿球温度	計算値 ₂	0.1℃
サンプリング	1回/秒		
ディスプレイ	52(W)mm×38(L)mm バックライト付		
機能	データホールド、MAX/MINホールド、オートパワーオフ		
使用環境	0～50℃、90%RH以下(結露なきこと)		
保存環境	0～50℃、85%RH以下(結露なきこと)		
電源/寿命	単3電池×3		
サイズ/質量	本体：177L×57W×24Dmm/約489g		
標準付属品	単3電池×3、キャリングケース、取扱説明書(保証書)		

※露点温度(*1)、湿球温度(*2)は気温と湿度からの計算値です

《使用方法》

- ①屋外で日射がある場合は「OUT」、屋内か日射のない場合は「IN」に設定
 - ②地表から1.2～1.5の高さで周囲に壁面がない状態で使用する
 - ③黒球は大陽に向ける
 - ④屋外での使用には雨、砂埃に注意
- ※上記はあくまで推奨される測定方法です。測定器を持ち胸の高さで測定することも可能です。

《労働作業時の目安》

作業の強さ	許容温度条件WBGT
RMR～1(極軽作業)	32.5℃
RMR～2(軽作業)	30.5℃
RMR～3(中等度作業)	29.0℃
RMR～4(中等度作業)	27.5℃
RMR～5(重作業)	26.5℃

※許容濃度等の勧告(2005年度)日本産業衛生学会誌47巻より

《スポーツ時の目安》

WBGT	熱中症予防のための運動指針	
31℃以上	運動中止	特別の場合以外は中止する。
28℃以上	厳重警戒	激運動、持久走などは避ける。積極的に水分補給、休息をとる。体力のない者、暑さになれていない者は中止。
25℃以上	警戒	積極的に水分補給、休息をとる。激しい運動では30分おきぐらいに休息。
21℃以上	注意	死亡事故が発生する可能性あり。熱中症の兆候に注意し運動の合間に積極的に水分補給。
21℃未満	ほぼ安全	熱中症の危険は小さいが適宜水分補給を行なう。市民マラソンなどではこの条件でも要注意。

※日本体育協会1994より

《日常生活における熱中症予防指針》

WBGT	注意すべき生活活動の目安	注意事項
31℃以上	危険	高齢者においては安静状態でも発生する危険性が大きい。外出はなるべく避け、涼しい室内に移動する。
28℃以上	厳重警戒	外出時は炎天下を避け、室内では室温の上昇に注意する。
25℃以上	警戒	中等度以上の生活活動でおこる危険性
25℃未満	注意	強い生活活動でおこる危険性

※日本生気象学会(2008年4月)より